

学校新聞

力行天下第一

青森県立五所川原高等学校

〒037-0066

第4号

五所川原市字中平井町3-3

Tel. 0173-35-3073

理数科特集号!

県内でただ一つ五所川原高校に設置されている「理数科」で独自に行われている行事をまとめて紹介します。

SRP(Science Research Project) 東京・筑波研修旅行

12月22日から24日の3日間、1年生の理数科予定者が関東方面に研修旅行に行き、最先端の科学技術や知識について、見て、聞いて、体験して学び、来年度の理数探究に向けての準備をしました。



つくばの地質標本館には、岩石や鉱物、化石など、およそ2,000点の標本が常に展示されているということでした。



東京大学の赤門前で集合写真を撮りました。その後、東大生が企画したワークショップで、勉強の仕方や時間の使い方について、アドバイスを受けました。東大生というだけで身構えてしまいましたが、みなさんとても良かったです。



国立科学博物館には、生物のはく製や骨格標本などの資料がありました。



日本科学未来館では、最先端の技術に関連したさまざまな体験活動を行うことができました。



JAXA筑波宇宙センターでは、宇宙開発の技術や、宇宙での生活についての展示がありました。

ELC(Effctive Learning Camp) 学習合宿

毎年3月に、理数科の2年生と1年理数科予定者を対象に、岩木青少年スポーツセンターで2泊3日の学習合宿を実施しています。大学進学のための学力の向上を図ることと、自己の学習方法の再確認と見直しを行うことを目的とし、互いに切磋琢磨することにより進学意欲と学習意識の高揚を目指すものです。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大によって、令和元年度から合宿は実施されていませんでしたが、今年度は3月15日～17日の日程で行われることになっています。写真は昨年度校内で実施したELCの様子です。



講義のなかには1・2年生合同のものもありました。上級生に教えてもらったり、時には対等に議論を交わしたり。2年生と一緒に勉強できてよかったと感想を述べる1年生もいました。他者と話し合い、色々な解法を知ることがスキルアップにつながります。また、ELCを経験して、勉強へのモチベーションを高める人が多いのも事実です。



校外での理数探究発表会

青森大学で行われる高校生科学研究コンテストや、弘前大学で行われる青森県高等学校理数系課題研究発表会では、他校の高校生らとともに、大学の先生方の前で発表し、質疑応答を繰り広げます。



高校生科学研究コンテストでは、「New Power プラスチック～強く手頃でエコなプラスチック～」の班が全41班の中からSDGs特別賞に選ばれました。青森県高等学校理数系課題研究発表会では、「New Power プラスチック～強く手頃でエコなプラスチック～」の班が、青森県教育委員会が主催する「進学力を高める高校生支援事業」総合研究発表会の代表に推薦されました。また「エコ&サステナブル～リボンベジタブルで家計応援!～」の班が西北地区高校生探究活動合同発表会で発表することになりました。

理数探究基礎実験

1月5日と9日に、1生理数科予定者が、来年度から始まる理数探究を前に、物理と生物の基礎的な実験法を学ぶ理数探究基礎実験を受講しました。



物理では仕事と運動エネルギーについて調べました。



生物では豚の眼を解剖し、眼のしくみと働きを探りました。

理数科講演会

学問に対する知的好奇心を高め、学術研究への意欲を啓発する目的で、年3回講演会を実施しています。
第1回:東北大学大学院理学研究科教授 木村憲彰 氏「極低温の世界」(7月)
第2回:東京大学大気海洋研究所特任准教授 脇谷量子郎 氏「『魚の口のはなし』—多様な顔と餌の食べ方の関係—」(12月)
第3回:東北大学大学院生命科学科教授 渡辺正夫 氏「高校での理数探究が、大学・大学院での研究につながる」(2月予定)



生徒からは毎回たくさんの質問が出て、活気のある講演会となります。



先進的な内容や、高校の授業では扱わないような発展的な内容で、大変刺激になります。